

ツキノワグマのエサ資源調査（着果状況調査）結果について

1 調査概要

- (1) 調査時期 8 月下旬～9 月上旬
- (2) 調査地点 南加賀～中能登地域の 20 か所程度
- (3) 調査内容 ブナ、ミズナラ、コナラの着果状況を調査・評価の上、6 段階で豊凶を判定

＜着果状況の判定基準＞

- ① 各調査樹木の着果状況を指数評価

着果なし : 0 一部の枝に疎に着果 : 1 一部の枝に密に着果 : 2
 樹冠全体に疎に着果 : 3 樹冠全体に密に着果 : 4 非常に密に着果 : 5

- ② 調査樹木の指数を平均し、下表により豊凶を 5 段階で判定

樹 種	大凶作 ×	凶 作 ▲	並 作 ○	豊 作 ◎	大豊作 ◎◎
ブ ナ ミズナラ コ ナ ラ	0.1 未満	0.1～1.0 未満	1.0～2.0 未満	2.0～3.0 未満	3.0～



ブ ナ



ミズナラ



コ ナ ラ

2 調査結果

樹 種	総合予測	着果度 平均値	調査 地点	内 訳				
				大凶作 ×	凶 作 ▲	並 作 ○	豊 作 ◎	大豊作 ◎◎
ブ ナ	◎◎大豊作 (R7 : ×大凶作) (R6 : ▲凶 作)	3.19 (0.09) (0.73)	19	0	0	1	8	10
			(24)	(17)	(7)	(0)	(0)	(0)
			(25)	(8)	(9)	(5)	(2)	(1)
ミズナラ	○並 作 (R7 : ◎豊 作) (R6 : ◎豊 作)	1.59 (2.31) (2.27)	17	0	7	5	3	2
			(21)	(0)	(3)	(6)	(6)	(6)
			(21)	(0)	(1)	(10)	(4)	(6)
コ ナ ラ	○並 作 (R7 : ○並 作) (R6 : ○並 作)	1.88 (1.91) (1.93)	20	1	2	10	4	3
			(29)	(1)	(6)	(10)	(8)	(4)
			(28)	(0)	(3)	(10)	(15)	(0)

ブナが大豊作、ミズナラとコナラが並作となり、**今年の秋はクマのエサは不足しない見込み**

参考：近年の着果状況調査による豊凶状況（予測）

区 分	各年度の着果状況調査（8月）における豊凶結果											
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
ブ ナ	◎	▲	○	◎	▲	×	◎◎	▲	○	▲	×	◎◎
ミズナラ	○	◎	◎	◎	▲	○	◎	◎	○	◎	◎	○
コ ナ ラ	○	◎	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○
目撃件数	195 (143)	246 (191)	200 (162)	178 (148)	350 (213)	869 (227)	231 (202)	244 (214)	280 (138)	420 (242)	391 (226)	193 (193)

大 豊 作 ◎◎
 豊 作 ◎
 並 作 ○
 凶 作 ▲
 大 凶 作 ×

※（ ）内は9月9日時点の目撃件数